



ハウスマップ通信

vol. 22

一級建築士
きもつき 正信

リフォームよもやま話

この3月に工事を完了しましたお客様のお話です。

1年半前に東京都東大和市にお住まいの方からメールをいただきました。今度、奈良市に転勤になるので、以前から空家になっていた築後13年のお家をリフォームしたいとのことでした。早速、こちらに帰ってもらって現地を見せていただくとともに、リフォームのご希望をお聞きして、お見積書を作成・送付いたしました。プラン・仕様・金額にも納得していただき、すぐに契約いたしました。昨年2月ごろに着工する予定でしたが、突然お電話があり「転勤がなくなったので解約したい」との申し出でしたので、会社としても解約に同意し、いただいていた契約金もお返ししました。ところが、その方から今年2月初旬に再度お電話があり、「今年転勤が決まったので、リフォームをお願いしたい」とのことでした。再度工事内容の確認をして契約・無事竣工しました。3月末にお引越されます。いろいろなことがありましたが、良いご縁に巡りあいました。

リフォームのご相談をお待ちしています。以下はリフォーム相談の一例です。

リフォームを始めるきっかけは、何らかの問題が発生したり、より快適さを求められることの想いからが多いようです。今までの経験や技術で、その最も良い方法をアドバイスいたします。今までのご相談事例の内からいくつかお話をさせていただきます。ご参考になれば幸いです。



相談事例 ケース 1

奈良市朱雀にお住まいの方からお電話をいただきました。以前に泥棒にガラスを割られたとことでガラスの取替えや防犯灯をお付けしたお客様でした。今回は、2階の雨戸の隙間からコウモリが侵入してくるので入らないようにする方法がないかとのことでした。雨戸の戸板の隙間は開け閉めのために必要なもので蓋のようなものを取り付けるのもおかしく、悩みました。

現在は、堺市にお住まいでいずれ売却をお考えのため、費用もあまりかけたくないとのことでした。そこで、窓シャッターにお取替えを一旦ご提案しましたが、古い外壁とのバランスが良くないため現状のままで仲介物件として見てもらうようにお勧めしました。購入者が窓シャッター取替えや外壁塗装をされるかもしれませんし、中途半端が一番良くないとお話しましたところお客様にはご納得していただきました。



相談事例 ケース 2

こちらにも奈良市朱雀に戸建てのお家をお持ちの方からのご相談です。

現在、兵庫県西宮市のマンションにお住まいですが、将来のことを考えて、朱雀の住宅のアプローチ部分を車イスも入れるようにスロープの設置を検討して欲しいとのことでした。他の業者に見てもらったところ、段差1.6mに対して門から玄関ポーチまでの距離が足りないと指摘されたそうです。

車イスの自走のためには、段差の12倍の距離が必要です。現状15mの距離は確保できそうなので、安全で快適な空間を作りだせそうですので、お客様にとっての最適なプランを思案・作成中です。

結果は、いずれ「ハウスマップ通信」誌上でご紹介したいと思っています。

「構造からデザイン性まで」住宅をトータルに考える会社です。

一級建築士と考えるリフォーム
リフォーム工房 **ハウスマップ** 高の原

奈良県知事登録 第2010(い)2264号(一級建築士事務所)、奈良県知事許可(般-21)第14741号(建設業)

631-0011 奈良市押熊町557-7(平城ビル5階)ミドリ電化隣

0120-72-3606

ハウスマップ

で一発検索!

